

CBMOC会員様インタビュー Vol.4

東京・大阪・福岡。3拠点の各地にいらっしゃるお客様が、もっと他のお客様のこのことのできる機会をつくりたい！という思いから、今号もCBMOC会員様のインタビューを掲載させていただきます。
今回は、千葉県で事業を営む、保川建設株式会社の代表取締役社長、保川謙一様にインタビューしました。



◆プロフィール

お名前：保川謙一 社長歴：5年目
趣味／休日の過ごし方：地域の活動に力を入れています。茂原市・一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町で構成されている、長生郡市と茂原市の青年部として連携を結び、お互いの地域活動のお手伝いをしているため、忙しくしています。最近は毎週「納涼祭」をしています。焼きそばを焼いていますよ！（笑）
プライベートでは昨年ゴルフをもう一度始めました。早くスコア100を切りたいです！

◆尊敬する人

千葉県出身の偉人、伊能忠敬を尊敬しています。商人でありながら、50歳を過ぎてから測量を学び、自らの歩幅で計測して日本地図を作るという偉業を成し遂げました。人間、何をやるにも遅すぎるということはないと教えられました。

◆あなたの願掛けは

そうですね・・・特に意識しているものはありません！

◆これまでの経緯

14年前の当時29歳で保川建設に入社しました。実は元々会社を継ぐ気持ちはなく、高校卒業後は測量会社に勤めていました。しかし、入社してすぐにバブルがはじけてしまい、突然仕事なくなり、「解散！」という形になってしまいました（苦笑）

その後は基礎屋さん、ハウスクリーニング屋さんで働きましたが、景気が戻ってきたタイミングで、以前勤めていた測量会社からまた声をかけていただき、実質トップという役割で働いていました。

25歳の時、結婚をしたことをきっかけに実家へ顔を出す機会が増え、ある日、「大変だから会社に戻って欲しい」ということを言われました。その時点では、父親が社長、伯父が専務に就いており、自分自身が会社を継ぐという考えはありませんでした。

実は、当時結婚をする前から、奥さんには「実家を継がない」と言っていたので、保川建設に入社することを事後報告すると、怒られてしまいました（笑）
入社してから3年後、専務である伯父が会社を辞めることになりました。そこから本格的に自分の中で「会社を継ぐ」ということを意識し始めました。

ただし、意識し始めてから実際に代表になるまで、約6年という時間がかかりました。社内での信頼はもちろんのこと、実力を認めてもらう状態を作る、という部分で会社を継ぐことは並大抵のことではありませんでした。

◆経営者になって一番大変だったこと

大変だったことはすぐに忘れてしまうんですね・・・。
「堪えている」という意味では今が一番大変な時期なのかもしれません。幹部育成のための取り組みを始めてから数年経ちますが、幹部と共に作ったビジョンを社内に共有した際、社員への巻き込みが上手くいかず、否定されるような言葉をもらいました。

このビジョンの共有のために一番頑張ってくれていた社員が今、まさに心が折れそうになりながら、現状を受け止められるかどうかの岐路に立っています。私自身としては歯がゆい、もどかしい思いでいっぱいです。一進一退です。



◆社員が育ったなあと感じたエピソード

一人ひとりが意見を言いやすい会社に変化していると感じています。本当に小さなことかもしれませんが、例えば社内備品の配置を「もっとこのようにしたらどうですか？」という改善のための声が増えてきました。また、1つ1つの実行スピードも上がってきたように感じます。以前は、「勝手なことをしてはいけない」という雰囲気か漂う会社でした。今では自分たちで考えて行動し、実行スピードが少なからず加速していると思います。まだまだではありますが、これからも少しずつ成長していきたいです。

◆経営者の仕事を一言で言うと？

「一歩前に出て拓いていくこと」が経営者の仕事だと思っています。今、建築の現場では、要となる職人さんの多くが「仕事がない」という理由で、東京に出て行ってしまいう現状があります。地元でしっかり働き、食べていけるような環境を実現していくため、同業者や同じ地域の企業様との協力関係を作る働きかけをし、この業界を切り拓いていきたいと思っています。

◆社員との関係の質を上げるために意識してやっていること

社員の変化や頑張りに対して、できるだけ気づいてあげられるように、周りの人の声を聴くことを大切にしています。社外の活動の時間も多いため、意識的に聴こうと自ら動かなければ見えないことばかりです。特に、人から聴いたことは必ず、本人に直接伝えることを努力しています。それでも「社長は分かっている！」と言われることがありますので、まだまだですね。



◆会社概要

社名：保川建設株式会社
代表者名：保川謙一
業種：民家再生・リフォーム
本社所在地：千葉県茂原市
従業員数：12名
MOC 継続年数：3期目



◆最近勉強になった本

好きな本のジャンルは歴史ものです。その中でも、特に高杉晋作が大好きです。「面白きこともなき世を面白く すみなすものは心なりけり」の句で有名かと思いますが、実は、弊社の企業理念の中にある「暮らしをもっとおもしろく」のおもしろくは、この句にインスピレーションを受けています。



◆担当の新井より一言

5年ほど前からソリューションを見守り、関わってくださる会社様です。我々が伝えることに対して、真摯に向き合い、肯定的に捉え、愚直に実行してくださる保川社長。他のクライアント様に対しても、良い影響を与えてくださり、保川社長が元氣経営塾にいらっしやると、ソリューションメンバーが安心します。（笑）
社長ご自身、最近、民家再生や地域を活性化させる活動にも尽力されており、未来を創るための日々を過ごされています。手掛けた古民家を間近に見ると、正直、驚きます。近頃はIT企業の社長様からも注文をいただく聞いております。モダンな部分と歴史を掛け合わせた、趣深いお家ばかりです。
保川社長ご自身が優しく器の大きい方ですので、社員様もお優しい方々がたくさんいらっしやいます。これからも、組織活性化のための未来投資として、共に歩んでいけたら嬉しいです！



◆MOC会員様に伝えたいこと

いつまで経営者をするイメージを持っているか、辞めるタイミングを決めているのか、ということを読んでみたいですね。

実は、私には「大学に行きたい」という思いがあります。どういう形でその思いを実現できるのか、今はまだ見えていませんが、尊敬する人で挙げた伊能忠敬のように、「人生何をするにも遅いということはない」と思っています。「何歳になってもできるんだ！」という情熱を持ち続けながら、生きていきたいと思っています。